

ビジネス最前線

②

差別化で競争打ち勝つ

安定した成長が見込まれる一方、企業間の競争が激しさを増す医薬原薬・中間体市場。製薬メーカーのアウトソーシングの増加にと

きな変化を及ぼしている。

「合成技術の最先端設備導入に加えて、開発スピー

ド、コスト、品質管理・保証など、あらゆる面で要求

は厳しくなっている」。大手

医薬原薬・中間体メーカー

の開発担当者は業界の現状をこう指摘する。医薬品は

景気に左右されないという

強みがあり、安定した市場とみられていた。しかし、

ジェネリック医薬品の普及拡大を背景に、医薬原薬



医薬原薬・中間体メーカーは高い技術力に加えてコスト対応力、品質安定性が求められるようになっている

薬品およびバイオシミラー（バイオ後続品）へのアプローチ、インド市場の拡大といった環境変化が起きている。

とくに近年、新薬開発の難易度が上がり開発コストが増大するのにあわせ、安価なジェネリック医薬品への関心が高まっている。少子高齢化などにもなう医療費削減が緊急の課題となるなか、政府も使用を促進している。

後発薬へ参入窺う

市場進出に向けた動きが活発化している。エーピーアイコーポレーション（A PIC）はインドに医薬原薬・中間体の生産拠点を設立、日本の高い品質管理力とインドの安価製造を組み合わせ、品質・コスト両面で競争力強化を狙っている。

インドに熱い視線

インドはジェネリック医薬品の有力メーカーが多く存在し、世界最大規模の市場を有している。セントラル硝子は現地法人を設けており、ジェネリック医薬品中間体を中心に現地での情報収集および主要ユーザーとのコネクションを強化し、同分野への本格進出を目指している。

今後も医薬原薬・中間体市場は拡大が予測されるが、国内では高い成長率は期待できないとの見方が大勢を占める。とくにコスト競争が激しい受託製造は、さらなる価格競争が予想される。このため得意な分野に特化し、他社との差別化を図る企業が増えている。中長期的な観点から生産能力と品質管理レベルを高めていくことが、市場での評価・地位を勝ち取る力ギとなる。

